

# 2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑭

東日本ユニオン 中央本部

## これが現場社員の声だ！

- 私は設備職場で働いています。前に投稿した一人です。年末手当の回答みて、なぜ現場の苦勞が会社はわからないのか？と落胆と悔しきでいっぱいです。  
周りの社員も俺らの苦勞わかっていない。今まであれだけ儲けていた時に出さないで「何なんだ」となっています。  
しかも、コストダウンばかり言われていますが、今月支社の現場長会議が温泉旅館にて1泊で行われます。しかも、宿泊費は会社持ちです。社員のボーナスを削る前にこうした経費を削るべきです！  
安全な鉄道をつくるために、自分たちで体を使いながら頑張っている中でおかしすぎます。東日本ユニオンは追加支給の申し入れを出したのを聞きました。ぜひ、私たちの生活とこれまでの頑張りに対しての追加支給を出させるために頑張ってください！
- 今回の低額回答で、こんな会社に愛着はなくなりました。2.2ヶ月ではモチベーションが下がり真面目に働く気がおきません。しかし、東日本ユニオンの「妥結せず」「追加支給の申し入れ」という闘う姿勢を見て、自分も最後まで闘うことを決意しました！0.8ヶ月の追加支給を求め、職場から声を上げ、共に行動していきます。
- 賃金や手当は会社から出してくれるものではない！労働組合が要求をして勝ち取るものだ！経営側は赤字だからと人件費を抑制し、人をモノのように扱っているしか感じられません。組合未加入が多数を占めている中での労働組合の闘いは厳しい闘いではありますが、この先もなんだかんだと理由をつけて賃金、手当を抑制してくるのは目に見えています！しっかりと声をあげる労働組合として、追加支給の申し入れの取り組みを共有し、労働組合の大切さを広めていこう！そして不足分0.8ヶ月勝利に向けて頑張ろう！
- 勇気ある決断と尽力に感謝です。  
「声が届いている！」この実感職場の人たちにも広げていきます。世間を気にして月数を示せないなら「プラス〇万円」でも良い。難局を乗り越えるための力を与えてほしい！
- 職場の東日本ユニオンの掲示をみて、0.8ヶ月分の追加支給を求めて交渉を続けることにビックリしました。2.2ヶ月分の回答が出た瞬間「少ない」とは思いましたが、そうではない「足りない」という先輩や同僚がいます。  
「少ない」は我慢できますが「足りない」は直接生活に影響します。「足りない」の原因は安定支給を主張してきた会社にあると思えました。  
職場は今「足りない」と思っても本音が言えるような雰囲気ではありませんが、東日本ユニオンの組合員は「足りない！」「追加支給だ！」と、生き生きしている姿を見て「言ってもいいんだ」と感じました。社員の想いを形にしてくれているみなさんに心から感謝します。応援しています。
- あまりにも低額回答で納得できません。家族もいます。生活があります。ぜひ、上乘せをお願いします！